

新年のごあいさつ



東京学芸大学附属高等学校 同窓会
会長 野口玲子(5期竹B)

明けまして おめでとう ございます。

2016年 元旦

世界中が異常気象といわれる中、例年と比べ暖かな新年を迎えましたが、みなさまに於かれましてはどのようなお正月をお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

旧年中は同窓会へご協力を賜りありがとうございました。本年もよろしく願い申し上げます。

昨年は戦後70年にちなみ、私どもは過去の重大な過ちを振り返り、平和の大切さを痛感することとなりました。一昨年の附高創立60年を思いますと、戦後10年も経たない中での新たな高校設立がどれほど大変なことであったことかと、いまさらながら当時の先生やご父兄の方々のご苦勞が偲ばれ、感謝の思いに満たされました。

当初、私ども5期生までは、世田谷中と竹早中の校舎に分かれての間借り状態で、それぞれ2組100名で授業が行われたことなど、その後の卒業生には想像できないことかも知れませんが、与えられた状況の中で、私どもの高校生活は何と充実して楽しかったことか！当時、附高草創期の生徒たちを教導いてくださった先生方の情熱と愛情を貫かれた辛抱強さには頭が下がりますが、それが現在まで弛まず引き継がれ、附高の見事な発展へと導かれていることにさらなる感動を覚えます。

附高時代に培われた学びを基礎に各界で活躍される同窓生の働きが、世界中の平和な日々への貢献となりますようお祈りいたします。

私ども同窓会役員・理事一同は、附高で学ぶことが許された幸せに感謝を捧げ、みなさまにお役に立てるよう努めさせていただきます。

同窓会へのご理解、ご協力を、そしてさらに忌憚のないご意見、ご希望などを賜りますようお願い申し上げます。